



10:15二俣。ここまで一時間半。何もなかった。右俣に入る。

右俣も出だしは今までと特に変わりなく、「ああ、この沢はハズレか」と溜息をつきたくなる頃になって滝が出てきた。まずは10m二段滝。下部がナメ状で、ホールドも多く、快適に直登する。

上に出たら、すぐ5mの滝が続く。これも直登。その上にも更に5m滝。ここは右岸をシャワーで越える。今まで何もなかったのが一変して連瀑帯である。

小滝をはさんだあと、いよいよこの沢最大の20m滝。真中やや右よりを一部シャワーで直登する。ホールド多く、快適に登れた。

長い河原歩きのと、いきなり現われた連瀑帯もこれで終わりである。沢の傾斜もゆるやかになり、沢幅も狭く、やがてヤブがかかってくる。水も急に冷たくなってきた。11:10このへんが潮時と、遊行を切り上げ、姥神沢の下降に移るべく、右手の尾根めざしてヤブコギに入る。20分で尾根に出た。

【タイム】 赤芝沢遊行開始(8:45)→二俣(10:15)→遊行終了(11:10)→尾根(11:30)

### 姥神沢

1985年8月1日

尾根から5分も下ると小さなルンゼ状となる。そして更に10分で姥神沢の本流に出る。途中、2mのハング滝があり、これは幸先がよいと、ひそかに先を期待して、下降開始。

ところがである。姥神沢は全く平凡なのである。最初のうちこそ、小滝が出現したものの、あとは沢が急傾斜になっているというだけで、滝など全くかからない。これだけ傾斜がきついから、いつか滝が出てくるのではないかと、むなしい期待をだいて1時間余。とうとう今は荒れて車の通行などおよびもつかない姥神林道の橋に出ってしまった。下降終了13:05。

【タイム】 姥神沢下降開始(11:30)→下降終了(13:05)

